

# 真鶴町ランドデザインの策定について

## 1. 策定の背景・目的

人口減少や高齢化が進み、神奈川県で唯一「過疎地域」に指定された真鶴町では、この先何十年にもわたり自立していくために、長期にわたる町の方向性を示すランドデザインを作っています。

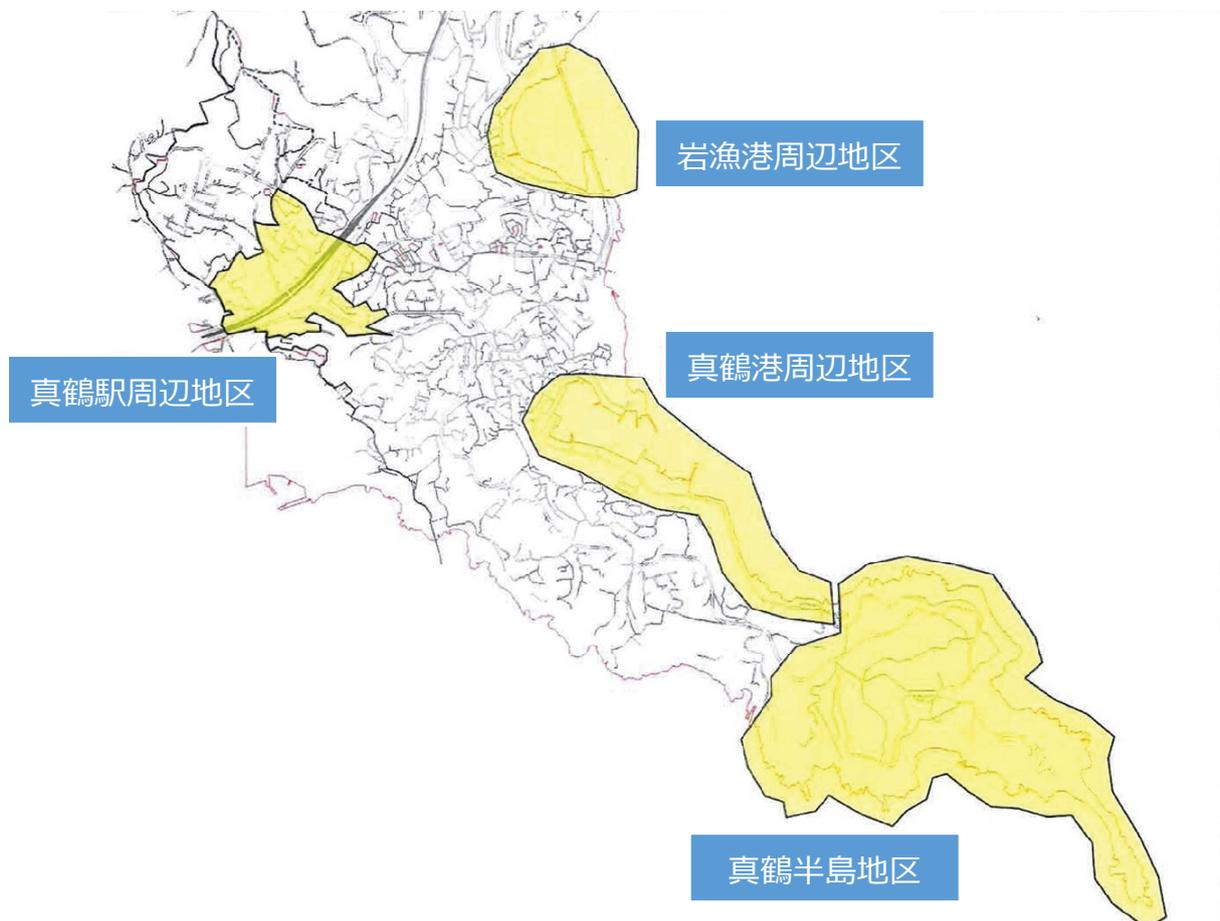
ランドデザインでは、町全体として、過疎対策・自立促進を図りつつも、真鶴らしさを極力残していく方向性を検討しているところです。

また、町全体での方向性を基に、主要な地区ごとの方向性を示したランドデザインも作ることで、地区ごとの特色を出していきたいと考えています。

真鶴町の将来イメージを定めていくうえで、町民の皆様のご意見も伺いながら進めていきたいと考えていますので、どうぞご協力をお願いいたします。

## 2. 地区ランドデザインの対象地区

下図に示すような「岩漁港周辺地区」、「真鶴半島地区」、「真鶴港周辺地区」、「真鶴駅周辺地区」の4つの地区ごとに地区のランドデザインを作ります。



### 3. 各地区グランドデザインのコンセプト等（案）について

各地区のグランドデザインを作るにあたり、町では、以下のように各地区のコンセプト等を考えています（現時点での町としての案です）。

#### 岩漁港周辺地区

##### ■コンセプト

岩漁港のポテンシャルを活かして観光・交流人口を増大させ、「まちの活力」として、地域の活性化を図る

##### ■方向性

- ・漁業のさらなる振興
- ・岩地区のにぎわい創出

#### 真鶴半島地区

##### ■コンセプト

真鶴の「まちの源」として、御林をはじめとした貴重な地域資源を守りつつ、この場所に来たときに「真鶴らしさ」を味わえるような活用も検討する

##### ■方向性

- ・御林をはじめとした自然、歴史、文化の保全
- ・観光、滞留拠点の整備による地域の魅力向上

#### 真鶴港周辺地区

##### ■コンセプト

歴史を感じる「まちの起点」として、貴船まつりや様々なイベントを通じて、にぎわいの創出を図る

##### ■方向性

- ・県が施設整備を進める中、ソフト的な施策による真鶴港周辺の魅力向上
- ・真鶴港周辺地区の町施設の再活用等による にぎわいの創出

#### 真鶴駅周辺地区

##### ■コンセプト

「まちの顔」として、交通利便性の向上と来訪客の増加に向けて整備する

##### ■方向性

- ・都会的な整備ではなく、美の基準を意識した昔ながらの良さを活かす整備
- ・ロータリーの再整備による人の流入の誘導
- ・安全かつ快適に移動できる駅前、にぎわいのある駅前の形成

## 町民意見交換会での意見（岩漁港に関わる意見のみ抜粋）

### 漁業の振興

- ・岩の漁業を活発にするには？
- ・若い漁師のみなさんを増やすには？
- ・冷凍C A S
- ・岩漁協周辺の道路が悪い。小松石を使って見栄えのよいものに。
- ・牡蠣の養殖をしているのなら、食べさせる場所を造って。

### ※海域面の使用の仕方

- ・住環境の確保必然。活性化は海域を中心。
- ・海水浴場の整備（下水道の整備）、利用促進。
- ・真鶴港と岩漁港との調整。
- ・岩漁港をヨットハーバーに。
- ・海水浴場にお客さんが多く来るためにはどうしたらよいか？
- ・岩のつり客をもっと増やす。
- ・牡蠣の養殖を岩の人が多く参加できるように。

### 漁協

- ・網干場にヘリポートをつくる。（今あるところを広げて）。
- ・網干場の駐車場利用（漁業者に影響しない程度に）。
- ・陸の孤島になるので、緊急用の栈橋をつくる。漁師さんも使える。
- ・新しい防波堤は目障りだ！！
- ・漁業地域に親しみがない＝町民と一体感がない。
- ・漁業権があるので人が来ない。

### 岩海岸

- ・管理がしっかりしていればよい。
- ・カヤックなどの客が来すぎても困る。
- ・カヤックの客が多いので駐車場、洗い場、出船料をとり、漁協の収入にする。
- ・渡し船での沖釣り堀。
- ・ウォーターパークを造る。
- ・波が小さい海岸なので家族連れが安心できる海水浴場。
- ・弁天島を観光地にすれば人がくる。
- ・さざえやあわびを潮干狩りのように、遊びでできるように工夫する。
- ・夏場の施設だけでなく、遊びを年間通してできる仕掛けがほしい！